

# 製品安全データシート

作成 2009年 4月 1日

改訂 2013年 6月 1日

## 1. 化学物質等および会社情報

製品名 : コンパウンド SEC-W  
 会社名 : 富士技研工業株式会社  
 住 所 : 埼玉県戸田市本町4-2-16  
 担当部門 : 品質管理部  
 電話番号 : 048-434-6401 F A X 番号 048-434-6404  
 緊急連絡先 : 富士技研工業株式会社 戸田工場 電話 048-299-5781

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

#### 物理化学的危険性

爆発物	分類できない	自然発火性液体	分類対象外
可燃性／引火性ガス	分類対象外	自然発火性固体	分類できない
エアゾール	分類対象外	自己発熱性化学品	分類できない
支燃性／酸化性ガス	分類対象外	水反応可燃性化学品	分類できない
高压ガス	分類対象外	酸化性液体	分類対象外
引火性液体	分類対象外	酸化性固体	分類できない
可燃性固体	分類できない	有機過酸化物	分類対象外
自己反応性化学品	分類できない	金属腐食性物質	分類できない

#### 健康に対する有害性

急性毒性（経口）	分類できない	生殖細胞変異原性	分類できない
急性毒性（経皮）	分類できない	発がん性	分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	分類できない	生殖毒性	分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない	特定標的臓器毒性 （単回ばく露）	分類できない
急性毒性（吸入：粉じん）	分類できない		
急性毒性（吸入：ミスト）	分類できない		
皮膚腐食性／刺激性	分類できない	特定標的臓器毒性 （反復ばく露）	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／ 眼刺激性	分類できない		
呼吸器感作性	分類できない		
皮膚感作性	分類できない	吸引性呼吸器有害性	分類できない

#### 環境に対する有害性

水生環境有害性（急性）	分類できない	水生環境有害性（慢性）	分類できない
-------------	--------	-------------	--------

## GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル：なし

注意喚起語：なし

危険有害性情報：なし

注意書き：

【安全対策】なし

【応急措置】なし

【保管】なし

【廃棄】なし

---

### 3. 組成および成分情報

単一製品,混合物の区別	：	混合物	
化学名（又は一般名）	：	リン酸 1 ナトリウム	低発泡性非イオン界面活性剤
成分及び含量	：	85%	15 %
化学特性（化学式又は構造式）	：	NaH <sub>2</sub> PO <sub>4</sub>	—
官報告示整理番号（化審法）	：	1-497	—
C A S No.	：	7558-80-7	—

---

### 4. 応急措置

吸入した場合	：	新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、医師の処置を受ける。体を毛布などでおおい、保温して安静を保つ。
皮膚に付着した場合	：	多量の水及び石鹼で洗い流す。症状が出た場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。
眼に入った場合	：	多量の水で 15 分以上洗い流した後、医師の処置を受ける。コンタクトレンズを使用している場合は、可能であれば取り除いて洗浄する。
飲み込んだ場合	：	水で口の中を洗浄し、コップ 1～2 杯の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。

---

### 5. 火災時の措置

消火剤	：	粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水
使ってはならない消火剤	：	情報なし
特有の危険有害性	：	燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。
特有の消火方法	：	火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。関係者以外は安全な場所に退避させる。周囲の設備などに散水して冷却する。消火のため放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な処置を行う。

消火を行う者の保護：消火作業では、適切な保護具（手袋、保護眼鏡、防毒マスク等）を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：作業時には皮膚に直接触れないように必ず保護具（手袋、保護眼鏡、防毒マスク等）を着用する。風上から作業をし、漏出した場所の周囲には、関係者以外の立ち入りを禁止する。必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項：流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

除去方法：飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。こぼした場所は大量の水で洗い流す。

二次災害の防止策：付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。火花を発生しない安全な用具を使用する。

---

## 7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い：

技術的対策

- ・ 酸化剤、強酸との接触を避ける。
- ・ 取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。

局所排気・全体換気

- ・ 取り扱う場合は、局所排気内、または全体換気のある場所で取り扱う。

注意事項

- ・ 使用後は容器を密栓する。
- ・ 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。
- ・ 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。

安全取扱い注意事項

- ・ 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
- ・ 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

保管：

技術的対策

- ・ 密閉容器に入れ、直接日光や雨水を避けて涼しくて換気の良い場所（冷暗所等）に貯蔵する。
- ・ 防湿に留意する。

適切な保管条件

- ・ 密封して換気の良い場所に保管。直射日光を避ける。
- ・ 酸化性物質、酸性物質から離して貯蔵する。

安全な容器包装材料

- ・ 製品使用容器に準ずる。
-

## 8. ばく露防止および保護措置

管理濃度：	リン酸 1 ナトリウム	低発泡性非イオン界面活性剤
	設定されていない	設定されていない
許容濃度：		
ACGIH	設定されていない	設定されていない
日本産業衛生学会	設定されていない	設定されていない

設備対策：粉じんが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気を設置する。取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。

保護具：保護衣、保護眼鏡、防塵マスク、保護手袋、ゴム長靴

---

## 9. 物理的および化学的性質

外観等：粘性結晶  
沸点：データなし  
比重：データなし  
臭気：なし  
蒸気圧：データなし  
pH：4.5（1%溶液）

---

## 10. 安定性および反応性

安定性：通常条件で安定である。  
反応性：酸化剤と接触すると反応することがある。  
避けるべき条件：日光、熱、湿気  
混触危険物質：他の薬品と混合しない。  
危険有害な分解生成物：りん酸化物、ナトリウム酸化物

---

## 11. 有害性情報

	リン酸 1 ナトリウム	低発泡性非イオン界面活性剤
急性毒性：	LD <sub>50</sub> （経口 ラット） 8,290g/kg （筋肉 ラット） 250mg/kg	データなし
皮膚腐食性／刺激性：	データなし	データなし
眼に対する重篤な損傷性／刺激性：	ウサギ 150mg 軽度 ヒト 50mg 軽度	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性：	データなし	データなし
生殖細胞変異原性：	データなし	データなし
発がん性：	データなし	データなし
特定標的臓器毒性（単回暴露）：	データなし	データなし
特定標的臓器毒性（反復暴露）：	データなし	データなし

吸引性呼吸器有害性：

データなし

データなし

---

## 1 2. 環境影響情報

	リン酸 1 ナトリウム	低発泡性非イオン界面活性剤
生態毒性		
魚毒性	データなし	>TLM3,000ppm (和金)
土壤中の移動性	データなし	データなし
残留性/分解性	データなし	難生分解性
生態蓄積性	データなし	データなし

---

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）、消防法を遵守し、適正な処理をするように依頼する。

容器：空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者に廃棄物処理法、及び関係法規・法令を遵守して、適正な処理をするように依頼する。

---

## 1 4. 輸送上の注意

国内法規制

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法等の規定に従う。

海上輸送：船舶安全法の規定に従う。

航空輸送：航空法の規定に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件

：輸送に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

---

## 1 5. 適用法令

労働安全衛生法：該当しない

消防法：該当しない

毒物及び劇物取締法：該当しない

化学物質管理促進法：該当しない

船舶安全法：該当しない

航空法：該当しない

---

## 1 6. その他の情報

本製品安全データシート（SDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂される事があります。また、SDS 中の注意事項は通常を取

扱を対象にした物です。製品使用者が特殊な取扱をされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証する物ではありません。

※危険、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意をお願い致します。

#### 参考文献

化学品安全管理データブック

化学工業日報社

化学大辞典

共立出版株式会社

化学品法令集

化学工業日報社

安全衛生情報センター

<http://www.jaish.gr.jp/>

製品評価技術基盤機構

<http://www.safe.nite.go.jp/ghs/list.html>

---